

あなたの心にジャストミート 6月16日メッセージ
神様が相続地 (ヨシユア 13:32-33)

旧約聖書には、神の民であるイスラエルに、勝利するために、あらゆる方法でメッセージを与えられています。きょうの箇所では、部族ごとに土地を分配したけれど、レビ部族は土地を分配されず、各部族の中に散らばって住んだことが書かれています。それは、神様ご自身がイスラエルの相続地であることを各部族に思い出させるためでした。イスラエルの民は契約の民です。この地上のものを相続するのではなく、神ご自身を与えられた民なのです。私たちも、この世の中で暮らしていますが、現場灯台として、この地のものにとらわれず、神様ご自身が相続地であることを覚えましょう。

信者の相続地は、神様です。地上にあるもの、人、どんなことも、希望を託せるものはありません。世を生きるために、地上にあるものは許されているのですが、そこに希望をおいて、捕らわれたり、振り回される必要はありません。人、病気、社会のなにかのゆえにがっかりしたり、絶望、失望するのは、そこに希望を置いていたということです。信者にとって望ましくない姿勢です。神ご自身が相続地なので、地上のことは自慢にもならず、それが劣っているからと卑屈になったり、心が縮まる必要もありません。地上のものは、私が生きる理由にはなりません。名誉、富、家族、もつともな理由になりますが、そのために生きるではありません。それらに捕らわれると、執着するようになります。あまりにもつともな話なので、本人も気づかないこともあります。それではサタンの奴隷として生きるしかありません。神様が信者の相続地です。神様が生きる理由、頼るべきお方、希望を託すべき方、神様こそが保証です。ですから、地上にあるもので人生は左右されない、まことの自由を味わうことができるのです。心の傷があると、がんばったり、ややこしい思いになり地上のものに捕らわれるようになります。どんなにすばらしいように見えても、



サタンが働きます。神様が相続地なので、地上のものでは左右されません。禁欲主義、厭世主義とはちがいます。

世の中には良いもの、必要なものがたくさんありますが、それがメインではありません。それらは、神様が与えられたものとして、管理する「管理人のスピリット」を持つのです。地上を生きますが、ちがう理由を持って生きて行きます。お金、成績、知識、健康、容姿の良し悪しで人生左右されて、捕らわれる必要はないのです。それ自体は希望ではなく、管理するだけです。地上のものにとらわれていると、一生、振り回されます。聖なる理由のために与えられているという管理人スピリットを持ちましょう。パウロは自分にとって得であったことを、いっさい損だと思つて、捕らわれないと告白しました(ペリピ 3:7-8)。そして、上からの天の報いに向かって行く(3:12,14)、地上のことは管理するだけで、国籍は天にある(3:20)と言いました。神様ご自身が相続地だということです。ですから、なににもとらわれず、どんな時も満足できる秘訣を持っていて、強くしてくださる方にあつてどんなことでもできると言いました(4:13)。現場灯台の私たちにとって、神様ご自身が、幸せであり、希望であり、相続地です。

なぜ地上のものにとらわれないのでしょうか。それは、キリストを与えられ、神様ご自身を与えてくださったからです。キリストこそが私の相続地であり、キリストだけを希望として生きて行くことができます。キリストは、神様からの最高のプレゼントです。信じるすべての信徒の内にキリストを与えてくださいました。それが相続地という意味です。ヨハネ 14 章で、「その日には、わたしが父におり、あなたがたがわたしにおり、わたしがあなたがたにおることが、あなたがたにわかります。」(20)と言われたように、キリストが相続地として内側に与えられ、神様ご自身が相続地となつてくださいます。

た。キリストが私の幸せで、十分であり、満足で、保証です。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と聖めと、贖いとなりました。(1 コリント 1:30)。キリストがすべてです。病気であっても危機が来ても、ダニエルと 3 人の同僚が告白したように「そうであっても、かまわない」と生きても死んでも関係ないという告白をすることができます。そのとき、暗やみが砕かれます。

キリストが相続地であるということは、天にあるすべての霊的祝福が注がれている(エペソ 1:3)ことで、義と認め、栄光に富んだ者として造り変えられたことです(ローマ 8:30)。ですから、信者はだれであっても、その人が行くところには、暗やみ、悪霊の力が縛られ、キリストのいのちが流れ、天の御使いが遣わされる人生を歩むようになります。義と栄光に富んだ者になっているのです(ローマ 8:31-39)。その祝福を奪うものは存在せず、圧倒的勝利者となり、すべてのことを働かせて益とされます。キリストこそが私の相続地だとその相続地が自分のものだと思つて、祝福を味わいましょう。そうすれば、地上にあるすべてが加えて与えられます(マタイ 6:33)。それらを道具として勝利の人生

をまっとうすることができるのです。地上のものを気にして、こだわっているなら、サタンに直結してしまいます。私の相続地はちがうと、地上のものではなく、キリストが喜び、希望、幸せ、満足なのだと告白して、暗やみが砕かれる体験をしましょう。サタンはほえたける獅子のように、あるときは、光の御使いになって攻撃してきます。地上のものにとらわれて、振り回されないようにしましょう。世の中に振り回されない、サタンが恐れる信者になりましょう。

キリストを相続地として立つ人のことを霊的サミットと言います。天にあるすべての霊的祝福をもって、霊的サミットに立って自分の存在理由を確認する時間を持ちましょう。聖なる道具として、管理人として、最善を尽くしましょう。努力するものではありません。キリストを相続地として集中して、キリストにとらわれることによって、証人の人生を歩むことができます。その祝福を味わう主人公になるようにお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシユア 13:32-33 神様が相続地

なるほど/ 信者は、地上を生きるけど、神御自身が信者の相続地なので、キリストを希望とし、この世を生かす聖なる理由の故に、地上のものに捕らわれず、むしろ管理人のスピリットで地上を生きたと、サタンが最も恐れる最高に素敵な勝利者となる。ならば/霊的サミットであることを告白してサミットの時間を持ち、地上のものから自由になる。執着ではなく、管理人としての最善を構えよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年6月16日)

1 部礼拝 : まず霊的サミットになるべき (ダニ 5:29-31)

神様の絶対計画である世界福音化のために、神様がいつも完璧に私とともにおられることを味わいながら、世の中を生かす霊的サミットとして召されたことを確信させてくださり感謝します。神様の契約を確実に握って、霊的サミットらしく心に定めて、味わって、伝える証人になりますように。まことに契約を握って世の王の前に立って答えを与えて、世の中を生かす証拠を見せますように。そして、全世界に神様が救い主であることを証して世界を生かしますように。今日まことの契約を握って、まことの力を得ますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝 : 国家を生かすまことの能力 (ダニ 6:10)

霊的サミットの祝福を受けた私と公務員たちを通して国家を生かして、迫害の中でも感謝して世界福音化の契約の旅程に行くようにしてください感謝します。目に見えない力を 24 時味わいながら、私がいる現場に神の国が臨みますように。高い人を生かす力を味わいますように。すべての人を生かす力を持って勝利して、悪い者から国家を救う祝福がすべての人に証しされますように。人を生かすことが私の主業になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。